

## をもって〈手段〉【by, with / 以～; 用～】<sup>1</sup>

- ① 誠実な田中さんは非常な努力をもって問題解決に当たりました。  
老實的田中先生以過人的的努力將問題解決了。
- ② 試験の結果は、1週間後に書面をもってお知らせします。  
考試的結果會在一星期後以書面通知。
- ③ 今回のアルバイトでわたしは働くことの厳しさを身をもって経験した。  
在這次的打工經驗中，我切身體驗到工作的嚴苛。
- ④ 彼の実力をもってすれば、金メダルは間違いないだろう。  
如果發揮他的實力，肯定能拿到金牌吧！
- ⑤ 彼の能力をもってしても、社長になるのは無理だろう。  
就算是靠他的能力，也不可能當上總經理吧！

## ⑥ N + をもって

- 1) 「用這個做某事」之意。 2) 例句③的「身をもって」是作為慣用句來使用的。
- 3) 如例句④⑤，也常使用「をもってすれば、をもってしても」等形式。 4) 一般不用來表示身邊具體的工具、手段。◆×この紙を10枚ずつクリップをもって留めておいてください。→○この紙を10枚ずつクリップで留めておいてください。

- 1) 「それを用いてあることをする」という意味。 2) The 身をもって in sentence ③ is idiomatic. 3) Also often used in をもってすれば or をもってしてのように、「をもってすれば・をもってしても」の形もよく使われる。 4) 身近で具体的な道具や手段にはあまり使われない。→◆
- 1) Use some means to do something. 2) The 身をもって in sentence ③ is idiomatic. 3) Also often used in をもってすれば or をもってして also, as in sentences ④ and ⑤. 4) Not often used about concrete means or methods close at hand. →◆

## をもって〈期限〉【as of / 以～為期限】<sup>1</sup>

- ① 本日もをもって今年の研修会は終了いたします。  
今年的研習會就在今天落幕。
- ② (お知らせ) 今回をもって相大ごみの無料回収は終わりにさせていただきます。  
(通知) 大型垃圾的免費回收於本次結束。
- ③ これをもちまして第10回卒業式を終了いたします。  
第10屆畢業典禮就此結束。

## ⑦ N + をもって

接在表示期限的詞語(本日、這次、12點等)之後，用來宣佈一直在持續的事物到那一期限結束。常見於正式文件或寒暄等，語氣較為生硬。

期限を素す言葉(本日・今回・12時など)につき、それまで續いていたことの終わりを宣告するときに使う。正式文書やあいさつなどに見られる硬い言い方。

Appends to words expressing time limits, such as 本日, 今回, 12時, etc to declare that what has continued until now is over. Formal expression seen in official statements and salutations.

## をもとに(して)【～を素材にして/～からヒントを得て】<sup>2</sup>

- ① ひらがなとかたかなは漢字をもとにして生まれたものである。  
平假名和片假名是以漢字為素材所創造的文字。
- ② 北欧の古い歌をもとに、新しい音楽に作りかえたのがこの曲です。  
以北歐老歌為題材，改寫成新的音樂的，就是這首歌。
- ③ ポップスの中には有名なクラシックの曲の一部をもとにしたものがある。  
在流行音樂裡，有些歌曲擷取了著名古典樂曲的一部分當作題材。
- ④ 最近、戦争体験者の話してくれたことをもとにしたテレビドラマが多い。  
最近，有許多電視劇以經歷過戰爭的人口述的內容作為題材。

## ⑧ N + をもとに(して)

- 1) 表示產生某種事物的素材。後半句常使用含有「書く(寫)、話す(說)、作る(做)、創造する(創造)」等意思的句子。 2) 與「にもとづいて」意思相似，但「をもとにして」只是從中得到具體的素材，在精神上難以割離的意義較淡。 3) 後面出現名詞時，如例句③④，會變為「をもとにしたN」的形式。

- 1) あるものが生み出される素材を素す。後には、「書く・話す・作る・創作する」などの意味を持つ文が来る。 2) 「にもとづいて」と意味が似ているが、「をもとにして」は、それから具体的な素材を得るだけであり、精神的に離れずにとという気持ちは薄い。 3) 後に名詞が来る場合は③④のように「をもとにしたN」という形になる。
- 1) Describes material that creates something. Clauses with meanings of 書く, 話す, 作る, 創作する, etc. follow. 2) Similar in meaning to にもとづいて, but をもとにして has less feeling of emotional inability to gain distance, and focuses instead of obtaining concrete material. 3) When followed by a noun, becomes をもとにしたN, as in sentences ③ and ④.

## をもとにした →をもとに(して) 435

## をもとのともせず(に)【～に負けないで】<sup>1</sup>

- ① 山田選手はひざのけがをもとのともせず決勝戦に出ました。  
山田選手不顧膝部的傷勢，晉級到決賽。

②彼は体の障害をものともせず勇敢に人生に立ち向かった。  
他不屈服於身體的殘廢，勇敢地的人生路上邁步前進。

③村の人々は山で遭難した人を助けるため、風雨をものともせずに出発した。  
村民們為了救援遇到山難的人，不畏風雨地出發了。

### ㊦ N + をものともせず (に)

1) 表示「不畏困難・勇敢地朝著某個方向前進」之意。 2) 不能用來表示說話者本身的行為。

1) 「困難に負けないで、何かに勇敢に立ち向かう」とい  
う意味を表す。 2) 話者自身の行為には使わない。  
1) Refuse to give in to difficulty; stand bravely  
against odds. 2) Not used for speaker.

## をよぎなくさせる【しかたなく～させる】

①太郎は役者志望だったが、家庭の事情は彼に家業を継ぐことを余儀なくさせた。  
太郎想當演員，但家庭的情況使他不得不繼承家業。

②人件費の高騰が新しい支店開設の中止を余儀なくさせた。  
人事費用高漲，使得設立新分店的事不得不中止。

### ㊦ N + を余儀なくさせる

1) 表示「因自然或環境等個人能力所不及的強大力量導致…」，接在表示動作、行為的名詞之後。 2) 與「よぎなくされる」的立場相反。 **をよぎなくされる**

1) 自然や環境など本人の力では及ばない強い力で「～させる」という表現。行為を表す名詞につく。 2) 「余儀なくされる」とは立場が反対になる。  
1) Nature, environment, or other powers beyond those of party in question compel him to do something. Appends to nouns of action. 2) Opposite emphasis: よぎなくされる (be compelled to).

## をよぎなくされる【しかたなく～しなければならぬ】

①せっかく入った大学であったが、次郎は病気のため退学を余儀なくされた。  
好不容易考上大學，次郎卻因生病不得不退學。

②津波で家を失った人々は公園でのテント暮らしを余儀なくされた。  
因海嘯失去家園的人們，不得不在公園的帳篷中生活。

③この国では高度な福祉を支えるため、国民は高い税金の負担を余儀なくされている。  
因為這個國家實施高福利政策，所以國民被迫負擔昂貴的税金。

### ㊦ N + を余儀なくされる

1) 表示因自然或環境等個人能力所不及的強大力量，「沒辦法所以不得不那樣做」。接在表示行為的名詞之後。 2) 與「よぎなくさせる」的立場相反。 **をよぎなくさせる**

1) 自然や本人の力では及ばない強い力で「しかたなく～する」という表現。行為を表す名詞につく。 2) 「余儀なくさせる」とは立場が反対になる。  
1) Compelled by nature, environment, or other powers beyond those of party in question to do something. Appends to nouns of action. 2) Opposite emphasis: よぎなくさせる。

## をよそに【～を自分とは関係ないものとして】

①家族の期待をよそに、彼は結局大学には入らずにアルバイト生活を続けている。  
不顧家人的期望，他最後沒進大學，持續著打工的生活。

②老人や低所得者層の不安をよそに、ふたたび増税が計画されている。  
不顧老年人與低收入戶的不安，政府再度籌劃著增加賦稅。

③忙しそうに働く人々をよそに彼は一人マイペースで自分の研究に打ち込んでいた。  
他不理會看來忙於工作的人們，一個人以自己的步調專心投入研究中。

④うちの父は、中高年のパソコンゲームをよそに、今でも、手書きの手紙を丁寧に書く。  
家父無視中老年人的電腦風潮，至今仍慎重地親筆寫信。

### ㊦ N + をよそに

用於「把本來與自己有關係的事情當成與自己無關的事物」之意。

「本当は自分に關係のあることととらえなければいけないのに、自分とは關係ないものとして」という意味で使う。  
Even though party in question should be interested in something, is indifferent to it.

## んがため(に)【～ようという目的をもって】

①研究を完成させんがため、彼は昼夜寝ずにがんばった。  
為了完成研究，他不眠不休地努力著。

②1日も早く自分の店を持たんがために、必死で働いているのだ。  
為了早日擁有自己的店，他拼命工作著。

③これも勝たんがための練習だから、がんばるしかない。  
這個練習也是為了取得勝利，只能加把勁了。

④災害から1週間たった。避難先この地で生きながらためた方法をあれこれ考えて昨夜はよく眠れなかった。  
自災害発生已過了一个星期。我一直思考着在这个避难的地點生存下来的方法，所以昨晚没睡好。

㊦ V 存 十んがために 例外「する」は「せんがため(に)」

1) 表達「無論如何要實現某事，而帶著積極的目的做某事」之意。是書面語，語氣較生硬。 2) 後半句不可使用表示請求、命令和推動對方做某事等的句子。◆×大学に進学せんがためにがんばってください。

1) 「ぜひ実現させたい積極的な目的を持ってあることをする」と言いたいときに使う。文語的な硬い表現。 2) 後ろの文には依頼や命令、働きかけを表す文は来ない。  
◆ Person in question has proactive goal he truly wishes to accomplish. Formal written form. 2) Clauses containing requests, commands, or urgings do not follow. →

んじやない【～てはいけな】

①父：走り回るんじやない。本でも読んで、少し静かにしていなさい。

父親：不要跑来跑去的！看点书，稍微安静点！

②兄：電車の中で大声で話すんじやない。

哥哥：不要在电车上大声说话。

③食べ物好き嫌いを言うんじやありませんよ。

不可以偏食！

㊦ V 存 十んじやない

1) 表示禁止。「ない」部分的聲調使用下降語調。是口語用法，常在父母對孩子的話語等場景中出現。 2) 常為男性使用。女性則更常使用「のではありません」或「んじやありません」。句子的最後如加上「よ」，語氣會變得比較委婉。

1) 禁止の言い方。「ない」の部分で下降調で言う。話し言葉で、親が子に言うような場面がよく使われる。 2) 男性がよく使う。女性は丁寧体の「のではありません」または「んじやありません」を使うことが多い。最後に「よ」をつけることで軟らかくなる。

1) Injunction. ない is said in falling tone. Spoken form often used by parents to children. 2) Often used by men. Women use polite のではありません, or んじやありません. Addition of suffix よ softens state-ment.

んだ【～なさい must/表示命令(請你做～)】

①父：もう8時だよ。学校に遅れるよ。早く起きるんだ。  
父親：已經8點了。上學會遲到囉！快起來！

②兄：おしやべりしないで、さっさと食べるんだ。  
哥哥：不要聊天，快點吃完！

③(先生が小学生に)漢字は毎日、毎日、書いて覚えるんです。  
(老師對小學生說)每天都要寫漢字並背起來。

④母：忘れ物をしないように、前の晩によく準備しておくんだよ。  
母親：為了不忘記帶東西，要在前一晚上先準備好囉！

㊦ V 存 十んだ

1) 例句①②表示命令，例句③表示指示，例句④表示說服。 2) 「んだ」一般為男性用語，句子的最後若加上「よ」，語氣會變得較委婉。女性則常使用「んですよ」。

1) 命令(①②)、指示(③)や説得(④)を表す。 2) 「んだ」は普通、男性が使う。「よ」がつくと、軟らかくなる。「んですよ」は女性が使うことが多い。

1) Commands (as in sentences ① and ②); directives (as in sentence ③); or persuasion (as in sentence ④). 2) Normally used by men. Addition of suffix よ softens tone. Often women use: んですよ

んだ ⇨ のだ 327 - 329

んだった〈後悔〉【～すればよかった (regret) should have/要是做了…該多好】

①試験の成績は最低だった。こんなことならもっと勉強するんだった。  
考試的成績是最後一名。早知如此，當初更用功就好了。

②昨夜はバーで飲みすぎて、今日は頭が痛い。もっと早く帰るんだった。  
昨天晚上在酒吧喝太多，今天頭好痛。如果當時早點回家就好了。

③パスワードを忘れて、旅行先でメールが受け取れなかった。パスワードをどこかにメモしておくんだった。  
忘了密碼，以致於在旅行的地方無法收電子郵件。如果之前先把密碼記在某處就好了。

㊦ V 存 十んだった

1) 意為「要是做了…該多好」。表達說話者對於沒能實現之事的後悔、遺憾的心情。 2) 在書面語中，使用「のだった」。 3) 用於第三人稱時，需要加上「と」言っている」等詞句。